

まんのう町



まんのう町

# 議会だより

9月定例議会の報告他

2011 No.1

創刊号

平成23年  
12月1日発行



## 日本一大きな満濃池と神野神社の秋祭り

も  
く  
じ

- 表紙 目次 ..... 1P
- 議長挨拶・議員紹介 ..... 2P
- 議会の仕組み・委員会名簿 ..... 3P
- 決算状況 ..... 4P
- 議案採決結果 ..... 5P
- 議案紹介・議会日誌 ..... 6~7P
- 一般質問 ..... 8~10P
- 議会報告会 ..... 11P
- 編集後記 ..... 12P



- 発行責任者 まんのう町議会議長 大岡克三
- 編集 まんのう町議会広報特別委員会
- 住所 香川県仲多度郡まんのう町吉野下430
- 電話 0877-73-0109 FAX 0877-73-0114
- mail gikai@town.manno.lg.jp

発刊のびあいさつ

おおおか かつみ  
大岡 克三 議長



- 所属 無所属
- 職業 商業
- 趣味 スポーツ、海釣り
- 経歴 当選6回、まんのう町商工会理事

今年、3月11日発生の東日本大震災を初め、度重なる災害等により、日本列島各地が多難の年となりました。早急な復旧・復興を皆さんと共に祈りたいと思います。

ところで、国会においては、「地域主権改革関連法」が成立し、国、県から市町村への権限移譲が促進となり、各自治体の独自性が重んじられるようになります。本町も合併を選択し、早くも5年が経過をし、その間、議員各位も旧3町の均衡ある発展の為、切磋琢磨し議会活動をして参りました。そのような過程の中で、本年3月定例会に於いて、町民参加や情報公開等、住民自治を進化させる目的で、「議会基本条例」を制定し、今回、創刊号の発刊となりました。年4回ある定例会後発行となりますが、皆様方に、町政の現状や、議会活動を分かりやすく情報発信していく所存でございますので、ご意見等がございましたら議会事務局までお寄せください。

最後に、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

たにもり てつお  
谷森 哲雄 副議長



- 所属 無所属
- 職業 農業
- 趣味 軽登山、読書
- 経歴 当選9回

かわにし まきこ  
川西 米希子 議員



- 所属 公明党
- 職業 政党役員
- 趣味 読書
- 経歴 当選1回

たのおか ひでとし  
田岡 秀俊 議員



- 所属 無所属
- 職業 自営業
- 趣味 ソフトボール、旅行
- 経歴 当選1回、まんのう町商工会理事、元まんのう町体育協会理事、元琴平地区青年経営研究会代表幹事

たごうた まさお  
合田 正夫 議員



- 所属 無所属
- 職業 農業
- 趣味 カラオケ
- 経歴 当選1回

しろかわ まさせ  
白川 正樹 議員



- 所属 無所属
- 職業 会社員
- 趣味 読書
- 経歴 当選2回、町商工会監査

ほんやしき たかし  
本屋敷 崇 議員



- 所属 無所属
- 職業 農業
- 趣味 絵画、音楽鑑賞
- 経歴 当選3回

せき ようぞう  
関 洋三 議員



- 所属 無所属
- 職業 福祉タクシー(自営業)
- 趣味 旅行
- 経歴 当選3回、元満濃町社会福祉協議会理事

しろかわ としお  
白川 年男 議員



- 所属 無所属
- 職業 農業
- 趣味 読書
- 経歴 当選3回

しろかわ みなお  
白川 皆男 議員



- 所属 無所属
- 職業 農業
- 趣味 和太鼓
- 経歴 当選3回

おおにし しげき  
大西 樹 議員



- 所属 無所属
- 職業 会社員
- 趣味 きのこ栽培
- 経歴 当選5回

ふじた まさお  
藤田 昌大 議員



- 所属 社民党
- 職業 会社員
- 趣味 フォークソング、キャンプ
- 経歴 当選5回、社会民主党仲多度南支部支部長、日中友好協会満濃支部長

みやし かつとし  
三好 勝利 議員



- 所属 無所属
- 職業 商業
- 趣味 スポーツ
- 経歴 当選6回、まんのう町他三ヶ市町山林組合議会議員、三ヶ市町(七箇地区)山林組合議会議長

おおにし ゆたか  
大西 豊 議員



- 所属 無所属
- 職業 会社役員
- 趣味 スポーツ
- 経歴 当選7回

かわはら しげゆき  
川原 茂行 議員



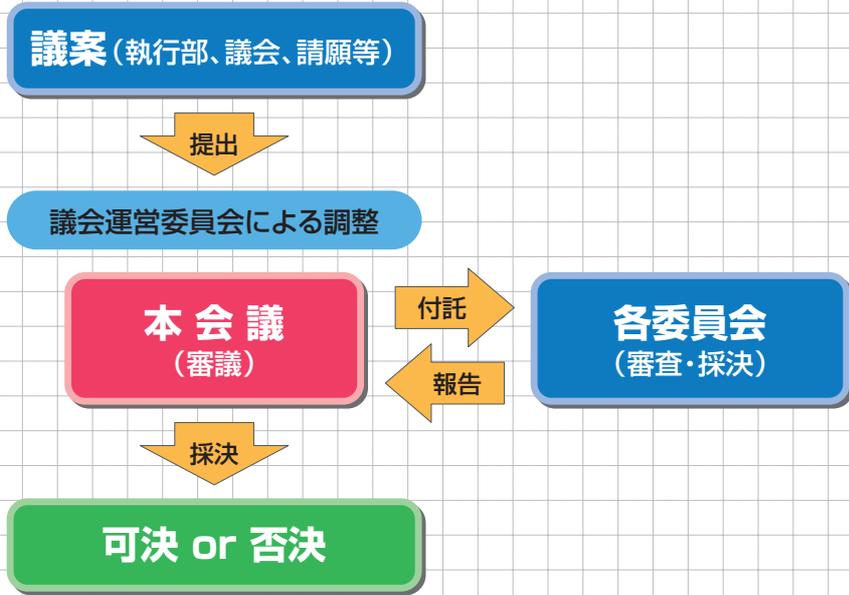
- 所属 無所属
- 職業 農業
- 趣味 スポーツ
- 経歴 当選7回

たかぎ ひさし  
高木 堅 議員



- 所属 無所属
- 職業 農業
- 趣味 スポーツ、読書
- 経歴 当選8回、社団法人仲善広域シルバー人材センター理事

## まんのう町議会の流れ



- 議会運営委員会**
- 常任委員会(常設の委員会)
- 総務常任委員会
  - 教育民生常任委員会
  - 建設経済常任委員会
- 特別委員会  
(特別な目的で設置された委員会)
- 議会広報特別委員会
  - 水資源対策特別委員会
  - 交通対策特別委員会
  - 満濃中学校改築調査特別委員会
  - 政策充実特別委員会

## 委員会名簿

### 総務常任委員会

- 〈委員長〉川原 茂行
- 〈副委員長〉大西 樹
- 〈委員〉白川 年男
- 〈委員〉関 洋三
- 〈委員〉本屋敷 崇
- 〈委員〉谷森 哲雄

### 教育民生常任委員会

- 〈委員長〉高木 堅
- 〈副委員長〉三好 勝利
- 〈委員〉大西 豊
- 〈委員〉白川 正樹
- 〈委員〉川西 米希子

### 建設経済常任委員会

- 〈委員長〉藤田 昌大
- 〈副委員長〉白川 皆男
- 〈委員〉合田 正夫
- 〈委員〉田岡 秀俊
- 〈委員〉大岡 克三

### 議会運営委員会

- 〈委員長〉大西 豊
- 〈副委員長〉白川 皆男
- 〈委員〉高木 堅
- 〈委員〉川原 茂行
- 〈委員〉藤田 昌大
- 〈委員〉大西 樹

### 議会広報特別委員会

- 〈委員長〉関 洋三
- 〈副委員長〉田岡 秀俊
- 〈委員〉高木 堅
- 〈委員〉三好 勝利
- 〈委員〉藤田 昌大
- 〈委員〉本屋敷 崇

### 水資源対策特別委員会

- 〈委員長〉白川 年男
- 〈副委員長〉白川 皆男
- 〈委員〉高木 堅
- 〈委員〉大西 豊
- 〈委員〉大西 樹

### 交通対策特別委員会

- 〈委員長〉川原 茂行
- 〈副委員長〉関 洋三
- 〈委員〉三好 勝利
- 〈委員〉田岡 秀俊
- 〈委員〉川西 米希子

### 満濃中学校改築調査特別委員会

- 〈委員長〉合田 正夫
- 〈副委員長〉白川 正樹
- 〈委員〉三好 勝利
- 〈委員〉藤田 昌大
- 〈委員〉本屋敷 崇
- 〈委員〉谷森 哲雄

### 政策充実特別委員会

- 〈委員長〉大西 豊
- 〈副委員長〉白川 正樹
- 〈委員〉藤田 昌大
- 〈委員〉白川 皆男
- 〈委員〉関 洋三
- 〈委員〉本屋敷 崇

### 議員会

- 〈会長〉高木 堅
- 〈副会長〉藤田 昌大
- 〈副会長〉大西 樹
- 〈副会長〉関 洋三
- 〈副会長〉白川 正樹

### 監査

- 〈委員〉三好 勝利

### 中讃広域行政事務組合

- 〈議員(正)〉大岡 克三
- 〈議員(副)〉谷森 哲雄
- 〈議員(選)〉大西 樹

### 仲多度南部消防組合

- 〈議員(正)〉大岡 克三
- 〈議員(選)〉藤田 昌大

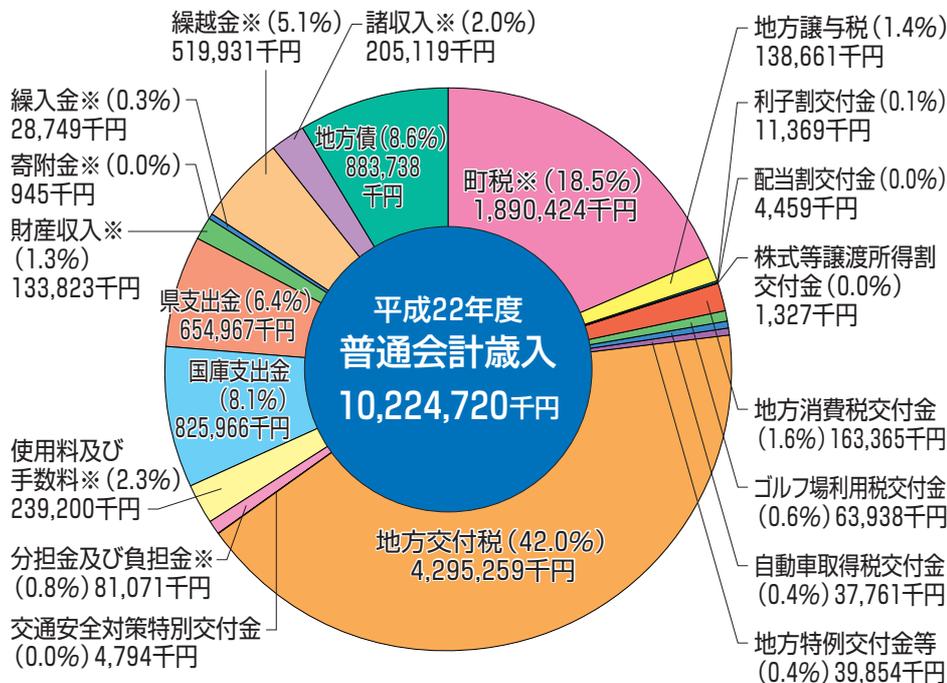
### 香川県中部競艇事業組合

- 〈議員(正)〉大岡 克三

### 香川県後期高齢者医療広域連合

- 〈副議長〉高木 堅

## 平成22年度 普通会計歳入決算状況

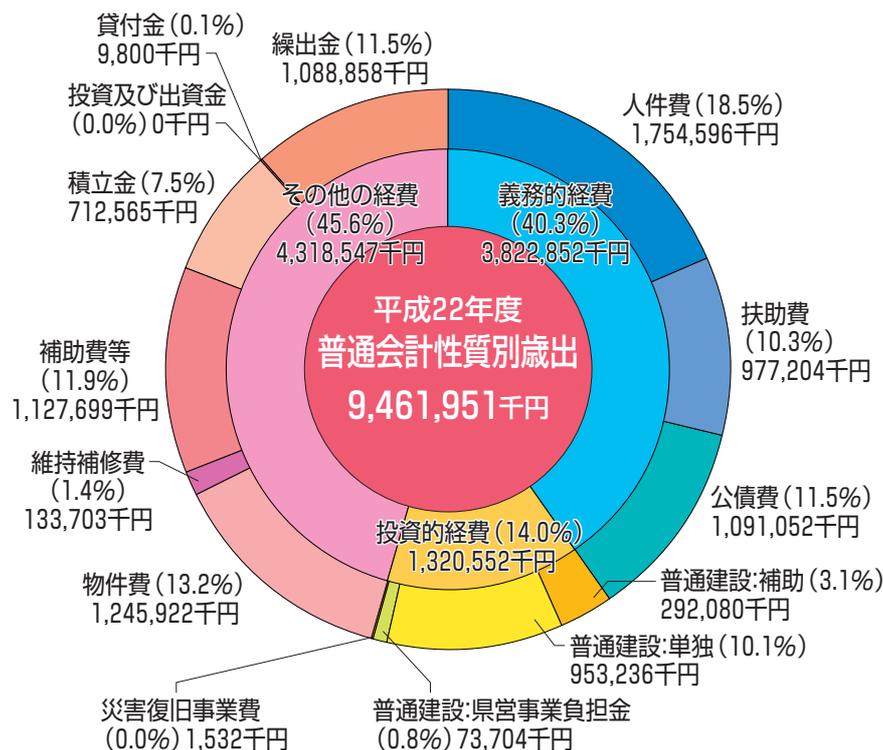


※印は、一般的に自主財源と言われているものです。

### 普通会計とは

地方公共団体ごとに会計（一般会計・特別会計）の範囲が異なっていることから、統一基準で整理して比較できるようにした地方財政統計上の会計区分です。まんのう町の場合は一般会計と診療所特別会計が普通会計となりますが、一般会計で介護サービス事業を実施している場合は特別会計で実施したものととして、普通会計の歳入・歳出から差し引かれます。また、後期高齢者医療に係る広域連合への派遣職員の人件費も普通会計の歳入・歳出から規模控除されます。

## 平成22年度 普通会計性質別歳出決算状況



<b>人件費</b>
職員などに対し勤労の対価、報酬として支払われる経費
<b>扶助費</b>
社会福祉や老人・児童福祉など安定した社会生活の保障に要する経費
<b>公債費</b>
町の借金（償還及び利子）の支払いに要する経費
<b>普通建設事業費（補助）</b>
道路、橋りょうなどの建設事業に要する経費で、国・県から補助を受けて実施する事業に要する経費
<b>普通建設事業費（単独）</b>
道路、橋りょうなどの建設事業に要する経費で、国から補助を受けることなく独自の財源（単県含む）で任意に実施する事業に要する経費
<b>普通建設：県営事業負担金</b>
県が行う事業に対し町が負担する経費
<b>災害復旧事業費</b>
災害によって被害を受けた施設などを原型に復旧するための事業に要する経費
<b>物件費</b>
人件費、維持補修費、扶助費、補助金等以外の消費的性質の経費
<b>維持補修費</b>
公共施設等の効用を保全し維持するための施設補修に要する経費
<b>補助費等</b>
各種団体に対する負担金補助及び交付金等に要する経費
<b>積立金</b>
基金の積立に要する経費
<b>投資及び出資金</b>
資金の投資及び出資に要する経費
<b>貸付金</b>
資金の貸付に要する経費
<b>繰出金</b>
一般会計と特別会計または企業会計相互間の予算の相互充用に要する経費

# 議案採決結果

議案名等	議席番号			議員名															
	賛成	反対	議決結果	16 大岡 克三	1 川西 米希子	2 田岡 秀俊	3 合田 正夫	4 白川 正樹	5 本屋 敷崇	6 関 洋三	7 白川 年男	8 白川 皆男	9 大西 樹	10 藤田 昌大	11 三好 勝利	12 大西 豊	13 川原 茂行	14 高木 堅	15 谷森 哲雄
<b>平成23年 9月定例会</b>																			
認定第1号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第9号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第10号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第11号	15	0	認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	14	0	可	/	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	14	0	可	/	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙第1号	14	0	選	/	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>平成23年 第3回臨時会(7月13日)</b>																			
議案第1号	15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	11	4	可	/	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○
<b>平成23年 第4回臨時会(7月29日)</b>																			
議案第1号	15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>平成23年 第5回臨時会(8月30日)</b>																			
議案第1号	10	5	可	/	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○
議案第1号	15	0	可	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※可…可決 認…認定 選…選出 ○…賛成 ×…反対 —…欠席 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。

# 議案紹介

23年9月定例会

**認定第1号 平成22年度まんのう町一般会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額101億5240万8千円、歳出決算額93億9541万4千円、差引残額7億5699万4千円、翌年度へ繰り越すべき財源8165万7千円、翌年度繰越額(実質収支額)6億7533万7千円。

採決結果 全会一致認定

**認定第2号 平成22年度まんのう町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について**

(事業勘定)歳入決算額23億6355万5千円、歳出決算額1808万9千円、差引残額4546万6千円、翌年度繰越額4546万6千円。

(直営診療施設勘定)歳入決算額3124万5千円、歳出決算額3124万5千円、差引残額0円。

採決結果 全会一致認定

**認定第3号 平成22年度まんのう町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額520万円、歳出決算額520万円、差引残額0円、平成22年度をもって終了。

採決結果 全会一致認定

**認定第4号 平成22年度まんのう町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額2億5318万2千円、歳出決算額2億4225万5千円、差引残額1092万7千円、翌年度繰越額1092万7千円。

採決結果 全会一致認定

**認定第5号 平成22年度まんのう町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額20億8677万2千円、歳出決算額20億3500万8千円、差引残額5176万4千円、翌年度繰越額5176万4千円。

採決結果 全会一致認定

**認定第6号 平成22年度まんのう町診療所特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額1億1086万4千円、歳出決算額8345万2千円、差引残額2741万2千円、翌年度繰越額2741万2千円。

採決結果 全会一致認定

**認定第7号 平成22年度まんのう町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額2億7692万9千円、歳出決算額2億5597万8千円、差引残額2095万1千円、翌年度繰越額2095万1千円。

採決結果 全会一致認定

**認定第8号 平成22年度まんのう町下水道特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額1億7863万円、歳出決算額1億7489万4千円、差引残額373万6千円、翌年度繰越額373万6千円。

採決結果 全会一致認定

**認定第9号 平成22年度まんのう町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額2808万2千円、歳出決算額2632万6千円、差引残額175万6千円、翌年度繰越額175万6千円。

採決結果 全会一致認定

**認定第10号 平成22年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定について**

歳入決算額4916万円、歳出決算額4916万円、差引残額0円。

採決結果 全会一致認定

**認定第11号 平成22年度まんのう町水道事業会計決算認定について**

(収益的収支・税込み)収入2億6425万1799円、支出2億4038万4877円、純利益2386万6912円。(資本的収支・税込み)収入7178万1千円、支出1億4981万6554円、資金不足7803万5554円は当年度分損益勘定留保資金で補填。

採決結果 全会一致認定

**議案第1号 まんのう町税条例の一部改正について**

平成23年度の税制改正法案が6月22日に成立したことから、税条例の一部改正を行うものです。

**採決結果** 全会一致可決

**議案第2号 まんのう町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について**

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律が、平成23年7月29日に公布されたことによる改正です。

内容は、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に、死亡した者の死亡当時における兄弟姉妹を加えるものですが、死亡した者の死亡当時その者と同居し、又は生計を同じくしていた者に限ります。

また、死亡した者の死亡ときに配偶者、子、父母、孫、祖父母のいずれも存在しない場合とするものです。この改正は3月11日以降に生じた災害に適用されるものがあります。

**採決結果** 全会一致可決

**議案第3号 まんのう町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部改正について**

国の法律である「スポーツ振興法」が全面改正され、「スポーツ基本法」が公布されたことから「スポーツ振興法」が「スポーツ基本法」に、「体育指導委員」が「スポーツ推進委員」に置き換えられたことによる改正です。

**採決結果** 全会一致可決

**議案第4号 字の区の変更について**

後山及び七箇地区の県営中山間地域総合整備事業を施工したことに伴い、従来の字界が原形をとどめなくなったため、後山字樋向の一部を七箇字中山に編入するものです。

**採決結果** 全会一致可決

**議案第5号 一般会計補正予算案第2号**

歳入歳出それぞれ1億810万2千円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ90億8547万8千円としました。

主なものとしては、障害者福祉費1670万2千円、ため池ハザードマップ作成業務委託料1500万円、町道維持補修費1989万9千円、災害復旧費で1539万8千円などです。

**採決結果** 全会一致可決

**議案第6号 国民健康保険特別会計補正予算 第1号**

事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ67万5千円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ25億3857万5千円としました。

**採決結果** 全会一致可決

**選挙第1号 まんのう町外二ヶ市町(十郷地区)山林組合議会議員の選挙について**

まんのう町外二ヶ市町十郷地区山林組合議会議員(まんのう町佐文、帆山、後山、大口、新目、山脇、追上、宮田、買田、生間地区)は、2名の方が選出されました。

佐文16番地1 尾寄石根氏  
新目165番地1 千葉宗和氏

**採決結果** 全会一致選出

まんのう町外二ヶ市町十郷地区山林組合議会議員(まんのう町五條地区)は、1名の方が選出されました。

五條8番地1 堀田義一氏

**議会日誌**

7月	4日	満濃中学校改築 調査特別委員会	8月	2日	満濃中学校改築 調査特別委員会	9月	1日	教育民生常任委員会
	5日	満濃中学校改築 調査特別委員会		2日	議会広報特別委員会		2日	建設経済常任委員会
	6日	満濃中学校改築 調査特別委員会		8日	満濃中学校改築 調査特別委員会		7日	議会広報特別委員会
	8日	満濃中学校改築 調査特別委員会		16日	満濃中学校改築 調査特別委員会		8日	議会運営委員会
	11日	満濃中学校改築 調査特別委員会		16日	議会広報特別委員会		12日	平成23年9月定例会(初日)
	13日	議会運営委員会		18日	満濃中学校改築 調査特別委員会		13日	平成23年9月定例会(2日目)
	13日	平成23年第3回臨時会		24日	満濃中学校改築 調査特別委員会		14日	教育民生常任委員会
	13日	満濃中学校改築 調査特別委員会		29日	総務常任委員会		16日	建設経済常任委員会
	15日	議会広報特別委員会		30日	議会運営委員会		20日	建設経済常任委員会
	21日	満濃中学校改築 調査特別委員会		30日	平成23年第5回臨時会		22日	総務常任委員会
26日	満濃中学校改築 調査特別委員会	30日	満濃中学校改築 調査特別委員会	27日	議会運営委員会			
29日	議会運営委員会	31日	交通対策特別委員会	28日	平成23年9月定例会(最終日)			
29日	平成23年第4回臨時会							

一般質問

Q 旧満濃地区の町社協支部活動について

A 伝統に基づくことが最も穩当



関 洋三 議員

問 ①琴南・仲南地区と比べて旧満濃地区では町社協支部活動エリアが大きすぎ

です。民生児童委員さんの受持ちエリアぐらいに組織を細分化して身近な地域福祉活動を推進するよう提案します。②丸亀市を中心とした中讃地区の定住自立圏構想の推進委員になられる町長の考えを示して下さい。③町長の挨拶文更新を重ねるなどして見る人に期待のもてる町公式ホームページの充実を図ってほしい。

町長

どのような組織編成にすれば、地域福祉の活動がやりやすく、実績が上がることの視点により、対応すべきです。自然的に発生した地縁団体に、人為的に手を加えることは慎重である必要があります。すでに機能している地縁的な組織の編成替えは、行政が先導し、

つか、大きな問題でも起きない限り、伝統に基づくと

が、最も穩当であろうと考えます。旧満濃の地域においては、旧五箇村のまとまりを基本にして、その区域内での内部の編成を工夫していくのも一つの方法と思います。次に、定住自立圏構想推進では要綱の趣旨に基づき、まんのう町を含む圏域において安心して暮らせる地域を形成することを第一に、丸亀市との連携、また関係市町との協議の中で、連携による取組について検討を進めて参りたいと考えております。次に町公式ホームページの情報発信は、住民生活関連の情報の「町からのお知らせ」、「新着情報」のコーナーで最新情報を解りやすく提供するよう努めています。また、各所管課に対し更なる改善に努めるよう指導いたします。

一般質問

Q アドプト制度の推進による協働の町づくりを！

A 住民と行政が一体で住み続けたい町に



田岡 秀俊 議員

問 今後のまんのう町の町づくりを考えると、住民と行政が一体となって取り組む

住民協働の組織づくりが必要であります。その一つの方策として、行政が地域住民等団体と美化清掃活動を行う事を契約するアドプト制度があります。また、「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」という全国的組織もあります。自然環境に恵まれた景観を守り、後世に引き継ぐための官民一体となった取り組みの現状と今後の考えをお聞かせ下さい。

町長

平成13年度から環境ボランティア制度の登録を開始し、ボランティアの方々と行政との連携により不法投棄の見回りや日常的にゴミの回収にお力添えをいただいております。また、町内では、様々なボランティア団体による環境美化等の清掃活動が実施されており、土器川の環境美化活動ボランティアとして、まんのう町祓川グラウンドゴルフクラブほか2団体や金倉川のリフレッシュ香の川パートナーシップの団体等が国や県と協定を結び、年間2回以上の清掃活動を実施しています。また、道路関係では、「香川さわやかロード事業」により、町内の団体と協定を結び道路の環境美化のボランティア活動に取り組んでいただいています。今後も住民と行政が一体となり、住み続けたい町づくりに努めていきます。



一般質問

Q 再生可能エネルギー促進法の推進を

A 地域活性化に結び付けていけるよう検討



三好 勝利 議員

問 風力、太陽光エネルギー等の自然エネルギーを利活用しようとする「再生可能エネルギー促進法」が成立したのを機会に、本町として、これを真っ先に手を上げて、推進してはどうか。

町長 3月11日の東日本大震災をきっかけとして太陽光発電や風力発電をはじめとした自然エネルギーの必要性はこれまで以上に高まっております。自治体として香川県もソフトバンクが呼び掛けた「自然エネルギー協議会」に参加しているところであり、自然エネルギーを普及拡大するためのさまざまな取り組みが推進されることを期待しているところであります。本町としても、この広い山間部の地形を効果的に活用して時代の先駆けとなるよう様々な方面からエネルギー情報を収集しながら、過疎化の抑制

町長

として地域活性化に結び付けていけるよう検討していきます。問 町道、農道、用排水路整備において、今最も必要不可欠な箇所はどこであろうか。また将来、住宅地、商業用地として発展させることは、力強い町づくりにおいて避けて通れない問題と思われるが、町当局はどのように将来像を描き、計画されているか。町長 町道等の整備については、それぞれの地域の特性を生かし住民の声を反映できるように費用対効果にも重点を置きながら、その地域の将来を見据えたインフラ整備を行ってまいります。

一般質問

Q 軽自動車税の  
コンビニ納付について

A 各市町の動向を  
みながら検討

川西 米希子 議員



問 軽自動車税のコンビニ納付について、納税者の生活形態に合わせた利便性を図るためコンビニ納付制度の導入について質問。

町長 コンビニ納付が出来れば、納付機会の増加で利便性が高まり、税の増収にもつながると思いますが、電算システム初期導入経費やコンビニ受託会社への基本使用料、バーコード対応の一年間の印刷代、その他コンビニ取扱い手数料等の費用負担が発生することから現状で納付率97%を超えている本町では費用対効果の面で導入は難しいと考えており、他の税目も含め中讃地区の各市町の動向をみながら検討いたします。

問 母子手帳、父子手帳について、本町における、さらなる子育て支援の充実に図るうえからも町独自の内

容を盛り込んだ長く使える母子手帳へと改良すること及び、父子手帳の作成、配布について質問。

町長 母子健康手帳は、母子保健法施行規則で決められた様式を使用する所があり、これ以外は概ね作成例が示されており、これら様式に従って、作成しております。

本町では、より住民ニーズに近い物を選択し、提供することが最善であると考えています。また、父子手帳の配布については、社会的にも父親の子育てへの参加は一般的なものとなっております。このような社会情勢から、父子手帳も複数の出版社で作製されており、より多くの情報提供という観点から導入について、前向きに検討したいと考えています。

一般質問

Q ため池等の  
防災対策について

A ハザードマップを  
早急に作成すべき

川原 茂行 議員



問 農業の育成と発展は、活力ある町を創る上において最重要課題であります。その核となる満濃地区にほ

場整備を実施し、農業の近代化と地域の特徴を生かした農産物の開発を図らなければなりません。町当局の積極的な取り組みをお願いしたい。

きながら今後とも粘り強く進めてまいります。

問 ため池等の防災対策は是非必要であり、内、野口ダムは貯水量が多く、その対策は緊急を要するものであり早急に県と協議の上その対策を願いたい。

町長 野口ダムの防災対策では、東南海、南海大地震等がいつ起こっても不思議ではなく、近年の地球温暖化の影響もあり異常な大雨による災害も想定される中、地域住民の安全と安心のためにハザードマップの作成を早急に作成すべきと思いますので、香川県へ強く要望していきます。

町長 満濃地区のほ場整備事業は、昨年度に国営事業として香川県西部地区の三豊市、琴平町、まんのう町(旧満濃地区)の1市2町を対象とした国営緊急農地再編整備事業による地元説明会及びアンケート調査を実施しましたが、全体で400haの国営事業の採択要件に届かなかったため不採択となりました。しかし、満濃地区のほ場整備事業調査では、多くの要望や意向が寄せられていますので、農家の方のご意見を聞

一般質問

Q 満濃中学校改築の設計  
金額の増額について

A 提案者のコンセプトを  
尊重した設計変更

大西 豊 議員



問 まんのう町立満濃中学校改築・町立図書館等複合施設整備事業において、満濃中学校の要望書のうち10項目の変更(特に職員駐車場とプールの位置の変更)による設計金額が2億800万円の増額(総額約81億6千万円)に至った詳細な経緯を伺いたい。その際、三者協議会(満中・教育委員会・大成グループ)は開催されたのか。また、変更によるメリットとデメリットは？

これら実施設計、地元説明会に入るが、その中で減額修正はあるのか。

町長 視察した先進事例によるとPFI事業では契約を締結してから施設の検討に入るため設計段階での変更に対応し難いということであり、本町では契約の前に学校現場等の要望を可能な範囲で聞き、提案施設の設計変更を行いました。要望は駐輪場を1ヶ所にまと

め生徒の動線を小さくする、駐輪場から生徒昇降口までの雨対策をより高度にする、生徒指導を充実し、学年団経営の安定を図るため普通教室を1階と2階に分離する、それに伴い第2職員室を設ける、教職員が常に迅速、的確に生徒に対応ができるよう職員駐車場は校舎近くに配置、プールは安全管理上から見通しがよい校舎近くに配置する等でありました。

一般質問

一般質問

Q 温泉施設の衛生管理体制について

A 原水及び浴槽水の検査を年2回実施



白川 正樹 議員

問 循環式浴槽などの、39℃前後の環境で、増加しやすいレジオネラ菌による肺炎について、町内公共温泉施設は、いずれも循環式であり、特に、抵抗力の低い子供、老人は、感染すると深刻な事態を、起こしかねません。レジオネラ菌対策について、検査は、国の基準通り実施しているか？内部検査か、外部検査か？資料は保存しているか？発生した場合の、対策マニュアルは、あるか？

町長 町内の公共温泉施設は循環式浴槽のためレジオネラ菌防止に対応する設備を備えています。検査基準と検査方法は、いずれも原水及び浴槽水の検査を外部検査機関に委託し実施しております。検査は、国が定めている「新版レジオネラ菌防止指針」に基づき、浴槽水については年2回実施しており、現在まで、レジオネラ菌の検出はありません。次に、レジオネラ菌が発症した場合の対策マニュアルは、国が定めます「循環式浴槽におけるレジオネラ菌防止対策マニュアル」に基づき、迅速かつ適切な対応が取れるよう心がけています。安心して快適に施設をご利用いただけますよう今後とも努めてまいります。



一般質問

Q 町内ゴルフ場の利活用の考え方は

A 中国観光客の誘客を検討



藤田 昌大 議員

問 ①25年4月にPFI方式が導入されるが行政の方が町民や職員に理解され、進めなければならない。どう対応をするのか。又、町づくりの中に町内ゴルフ場の利活用の考え方はあるのか。

対象としたプログラムの実施等、図書館では高齢者や育児中の住民にも役立つ情報の提供等を行う。ランチルームは講演会、上映会、コンサート等の多彩な催し物ができる施設とし、住民が参加しやすい生涯学習の拠点、世代間交流が可能な空間としていきます。臨時職員の雇用では、正規職員の退職によりその補充として対応しているが保育所での入所児童数の増加、特別支援が必要な児童・生徒への対応等いずれにしても住民サービスを低下させないための必要な措置であると認識しており、業務内容は正規職員と変わらない職務であり、労働条件の格差はあるが、年次有給休暇の取得は計画的に取得するよう指導しています。

町長

ゴルフ場も観光資源のひとつと考えて中国観光客の誘客を、まんのうツーリズム協会で検討を申し入れしています。満濃中学校複合施設では、開館までに住民ニーズを調査し、体育館では妊産婦及び乳幼児を

一般質問

Q 工事等の入札制度について

A 県下の動向を見定めながら検討



谷森 哲雄 副議長

問 工事等の入札制度について、「予定価格を事前公表する方式」をとるべきではないでしょうか。予定価格を事前に公表することに競争原理が働き落札価格が一定の範囲内に下がると考えられます。落札価格については、平成18年にお尋ね致しました折、予定価格の95パーセント前後（過去5～6年間の平均）事前公表することにより、競争原理が働き落札価格が下がる。結果、町にとって財政的に良い影響が出ます。

町長 総務省・国土交通省連名による「公共工事の入札及び契約の適正化の推進について」で、予定価格の公表については、その価格が目安となって適正な競争が行われにくくなること、落札価格が高止まりになること、建設業者の見積努力を損なわせること、談合が一層容易に行われる可能性があること等の入札前に予定価格を事前公表することによる弊害を踏まえ、予定価格の事前公表の取りやめ等の対応を行うものとする事となっており、予定価格の事前公表を行う場合には、その理由を公表することとなっております。本町といたしましても、これらのことを踏まえ、県下の動向を見定めながら検討を行っていきたいと思います。



# 平成23年度 議会報告会

平成23年11月6日(日)

本年、3月に制定された議会基本条例にもとづき、初めての議会報告会を開催致しました。約80名の参加者のもと、議会の現状を報告したのち、意見交換を行いました。



## 各常任委員会・特別委員会の報告

### 1 総務常任委員会

- 平成22年度 決算について
- 平成23年度 予算について
- 定住自立圏構想について

### 2 教育民生常任委員会

- 予防接種について
- ゴミの分別収集について
- 介護、医療保険の説明について
- 給食の食材について

### 3 建設経済常任委員会

- 有害鳥獣について
- 災害、県道関係について
- 地籍調査の意義と進捗状況について
- 水道、簡水、四条浄水場について

### 4 水資源対策特別委員会

- 水資源確保について
- 環境保全について
- 森林環境税の導入について

### 5 交通対策特別委員会

- デマンド型乗合タクシー  
(あいあいタクシー) について

### 6 満濃中学校改築調査特別委員会

- 満濃中学校建築の途中経過と今後の予定について

### 7 政策充実特別委員会

- 議会基本条例、政治倫理条例の経緯と結果について

### 8 議会広報特別委員会

- 議会だよりの発刊について

## 《まんのう町立満濃中学校・図書館・体育館複合施設について》

- 事業契約締結日：平成23年8月30日
- 契約締結先：(株)まんでがんパートナーズ  
(大成建設(株)、大成サービス(株)、(株)フューチャーイン、  
(株)リブネット及び(株)宮脇書店の出資による特別目的会社)
- 契約先所在地：まんのう町買田175番地2
- 事業方式：PFI方式
- 事業契約期間：25年間
- 契約金額：81億5934万3555円  
(内消費税3億8376万7858円)
- 支払方法：一括払い及び25年間の割賦払い
- 純粋な財政負担：約40億3500万円(※1)
- 財政負担の削減額：約10億円(※2)

※1 純粋な財政負担とは、本事業に関係する国庫補助金、法人税、交付税等本町への歳入を考慮した金額です。

※2 財政負担への削減額とは、事業方式をPFI方式と従来方式を比較した金額です。

## PFI方式とは？

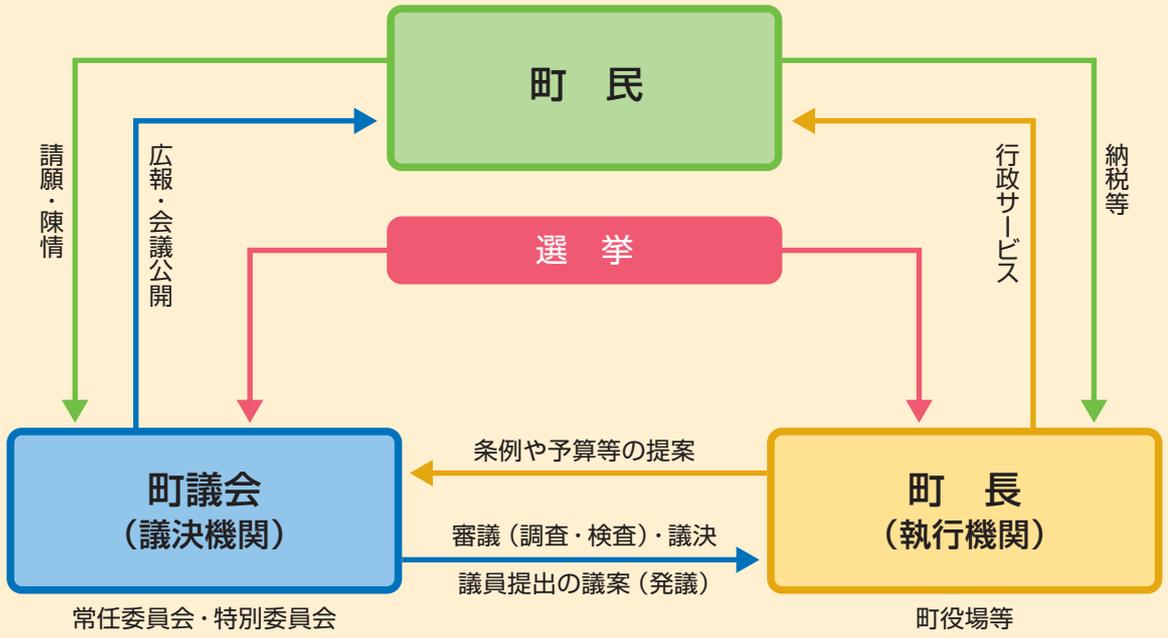
施設をつくり維持管理・運営を行う場合に、従来の公共事業では設計、建設、維持管理、運営という各業務を分割し、年度ごとに発注していました。一方、PFIでは設計、建設、維持管理、運営の全ての業務を長期の契約として一括してゆだねます。さらに、PFIでは従来のように細かな仕様を定めるのではなく、性能発注といって“性能を満たしていれば細かな手法は問わない”発注方式により業務をゆだねます。この違いによって民間のノウハウが発揮され、PFIのメリットが発生します。

# 町議会とは

町議会は、町民から直接選挙で選ばれた議員で構成され、町長から提出された議案や町民から提出された請願・陳情を審議し、議会として町の最終的な意思を決定する「議決機関」であり「意思決定機関」です。

一方、町長は、町議会で決定に基づいて仕事を具体的に行っていく、「執行機関」となります。

町議会と町長は、対等にそれぞれ独立した立場にたって、お互いに考えを出しながらけん制と均衡を図りながら、町の発展と町民の福祉向上に努めています。



創刊号の表紙を飾るのは、秋らしく神野神社の祭りの風景と共に、まんのう町のシンボルである「満濃池」です。まんのう町民の生活を支えてきた水と文化を紹介することで、議会も町民の生活を支えていけるように努力したいと思っています。

今年度の表紙は、あと2回ありますので、旧仲南町、琴南町に関連した写真にしたいと思っています。こんな写真があるという方は、議会事務局までよろしくお願ひします。



今号の  
表紙



あしがき  
編集委員長 関 洋三

締め切り日に追われるばかりで、みなさんのご期待に添えることが出来たかどうかと不安が残りますが、不備なところは次の課題として取り組んでまいります。

何かとご指摘を頂きながらいいものにしていきますと考えておりますので、今後共前向きなご意見をお願い致します。